

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 大田花き  
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 磯村 信夫  
 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,213	△6.9	56	49.0	90	23.7	60	92.1
29年3月期第3四半期	20,629	0.8	37	△71.3	72	△55.7	31	△68.0

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 60百万円 (92.1%) 29年3月期第3四半期 31百万円 (△68.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	11.87	—
29年3月期第3四半期	6.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	10,635	4,645	43.7	913.03
29年3月期	9,999	4,646	46.5	913.14

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 4,645百万円 29年3月期 4,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,073	0.3	130	683.5	160	155.3	115	273.7	22.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	5,500,000 株	29年3月期	5,500,000 株
30年3月期3Q	412,326 株	29年3月期	411,826 株
30年3月期3Q	5,087,932 株	29年3月期3Q	5,088,383 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東アジアの地政学的リスクはあるものの政府や日本銀行の経済・金融政策を受けて株価が2万円台で推移するなど緩やかな回復基調にありました。一方で個人消費は実質賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加により家計の節約志向は依然として根強い状況でした。

このような経済状況のもとで、当社グループは、卸売市場が地域文化による消費に呼応する社会インフラであることを念頭に置き、花のサプライチェーンの最適化を図るべく卸売市場流通の推進に取り組んで参りました。「農業競争力強化支援法」施行により、持続的な発展を実現するため、市場外流通を試みた出荷業者も相場が安定せず、仕入業者も欠品リスクが高いことなど業者だけでは解決できないことから卸売市場流通に戻り、卸売市場が社会インフラとして再認識されつつある状況でした。

取引の状況は、天候の影響を受けやすい園芸農産物を取扱うため、10月の長雨、日照不足、そして台風20号・21号の被害で生産量の減少と品質低下に見舞われましたが、11月以降は市場流通率の向上により市況・取扱量は安定し、活況の兆しが見られました。

また、大型物流センター(OTA花ステーション)の活用により、物流の効率化・省力化が図られたことで大幅なコスト削減を実現しました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高19,213,680千円(前年同四半期比6.9%減)、営業利益56,293千円(前年同四半期比49.0%増)、経常利益は90,096千円(前年同四半期比23.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は60,418千円(前年同四半期比92.1%増)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は10,635,552千円となり、前連結会計年度末に比べ635,831千円増加しました。これは主に現金及び預金が569,021千円、売掛金が400,876千円増加し、有形固定資産が154,197千円減少したことなどによるものです。

負債は5,990,360千円となり、前連結会計年度末に比べ636,867千円増加しました。これは主に受託販売未払金が831,094千円増加し、長期借入金が225,872千円減少したことなどによるものです。

純資産は4,645,192千円となり、前連結会計年度末に比べ1,036千円減少しました。これは剰余金の配当61,058千円、親会社株主に帰属する四半期純利益60,418千円の計上により利益剰余金が639千円減少したことなどによるものです。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して569,021千円増加し2,727,291千円となっております。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、910,310千円(前年同四半期は731,334千円の増加)となりました。主な増加要因は、仕入債務の増加848,482千円、減価償却費226,822千円によるものです。また、主な減少要因は、売上債権の増加403,255千円によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、42,596千円(前年同四半期は934,486千円の減少)となりました。主な減少要因は、貸付けによる支出58,000千円、有形固定資産の取得による支出43,781千円によるものです。また、増加要因は貸付金の回収による収入65,078千円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は、298,692千円(前年同四半期は877,443千円の増加)となりました。主な減少要因は長期借入金の返済による支出225,872千円、配当金の支払額59,869千円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年11月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,160,269	2,729,291
売掛金	1,906,959	2,307,836
商品	966	185
未収消費税等	90,417	—
その他	189,595	138,069
貸倒引当金	△4,607	—
流動資産合計	4,343,601	5,175,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,371,588	3,259,921
工具、器具及び備品(純額)	474,004	428,745
その他(純額)	131,521	134,248
有形固定資産合計	3,977,113	3,822,915
無形固定資産		
ソフトウェア	28,403	22,446
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	32,669	26,711
投資その他の資産	1,646,336	1,610,541
固定資産合計	5,656,119	5,460,169
資産合計	9,999,721	10,635,552
<b>負債の部</b>		
流動負債		
受託販売未払金	1,262,603	2,093,698
買掛金	68,234	84,318
1年内返済予定の長期借入金	323,808	323,808
未払金	101,000	53,732
未払法人税等	23,195	32,909
賞与引当金	26,000	12,000
その他	148,520	181,957
流動負債合計	1,953,360	2,782,423
固定負債		
長期借入金	2,589,894	2,364,022
退職給付に係る負債	309,047	333,537
資産除去債務	134,512	135,793
その他	366,678	374,583
固定負債合計	3,400,132	3,207,937
負債合計	5,353,492	5,990,360
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,042,005	4,041,365
自己株式	△350,143	△350,539
株主資本合計	4,646,228	4,645,192
純資産合計	4,646,228	4,645,192
負債純資産合計	9,999,721	10,635,552

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	20,629,882	19,213,680
売上原価	18,623,231	17,296,306
売上総利益	2,006,651	1,917,373
販売費及び一般管理費	1,968,872	1,861,080
営業利益	37,779	56,293
営業外収益		
受取利息	3,443	3,112
受取配当金	6,878	7,738
持分法による投資利益	5,958	6,341
貸倒引当金戻入額	6,712	4,654
その他	18,613	20,213
営業外収益合計	41,605	42,060
営業外費用		
支払利息	6,139	8,257
保険解約損	408	—
営業外費用合計	6,548	8,257
経常利益	72,836	90,096
税金等調整前四半期純利益	72,836	90,096
法人税等	41,382	29,678
四半期純利益	31,454	60,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,454	60,418

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	31,454	60,418
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	31,454	60,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,454	60,418
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	72,836	90,096
減価償却費	225,876	226,822
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,096	△14,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,900	24,490
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,712	△4,654
受取利息及び受取配当金	△10,321	△10,850
支払利息	6,139	8,257
持分法による投資損益(△は益)	△5,958	△6,341
売上債権の増減額(△は増加)	△231,644	△403,255
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,174	781
仕入債務の増減額(△は減少)	529,015	848,482
未収入金の増減額(△は増加)	2,800	22,727
未払費用の増減額(△は減少)	5,360	1,815
未払金の増減額(△は減少)	△15,167	△29,677
未払又は未収消費税等の増減額	179,402	107,586
その他	22,185	16,765
小計	790,791	879,045
利息及び配当金の受取額	30,297	18,311
利息の支払額	△6,139	△7,539
法人税等の支払額	△83,614	20,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	731,334	910,310
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△934,748	△43,781
無形固定資産の取得による支出	△7,527	△5,893
長期前払費用の取得による支出	△1,342	—
貸付けによる支出	△63,900	△58,000
貸付金の回収による収入	73,032	65,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	△934,486	△42,596
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	150,000	—
長期借入れによる収入	917,000	—
長期借入金の返済による支出	△116,380	△225,872
自己株式の取得による支出	△290	△396
配当金の支払額	△59,882	△59,869
リース債務の返済による支出	△13,003	△12,554
財務活動によるキャッシュ・フロー	877,443	△298,692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	674,290	569,021
現金及び現金同等物の期首残高	2,034,423	2,158,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,708,714	2,727,291



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。